企画セッション

東京科学大学の Visionary Initiative（VI）進めていくうえでの知財戦略
～医工連携を超えた‘医工共創’における知財融合戦略～

【概　要】

東京科学大学は 2024 年 10 月に東京医科歯科大学と東京工業大学が統合して誕生した新しい大学であり、1 丁目 1 番地として従来の医工連携を超えた‘医工共創’を目指す研究開発とその成果を社会に還元する使命を自覚している。
2026 年 4 月から国際卓越研究大学として、更にその取組みを加速するために、医療系と理工系が協働で 8 つの Visionary Initiative（VI）の領域を定め、組織・体制の再編と研究開発、成果の社会実装を加速している。

東京科学大学の Visionary Initiatives（VI）

本セッションでは、この医工共創研究で産み出される「医薬品系」、「医療機器系」、「ヘルスケア系」研究成果をどのような知財戦略で進めているのかについて紹介し、議論したいと考えている。

企画セッション

東京科学大学の Visionary Initiative（VI）進めていくうえでの知財戦略
～医工連携を超えた‘医工共創’における知財融合戦略～

【話題と論点】

本セッションでは、以下のような話題提供と論点で、登壇者のそれぞれの立場・視点から議論を深めたいと考えている。

・医薬品系、医療機器系、ヘルスケア IT 系の知財戦略の違い
各製品系で、競合優位性を保ち独占的な知財権を獲得するための戦略は異なっており、その違いを明確にしたうえで、それぞれの製品系での戦略について議論する。

・国際卓越大学である東京科学大学が目指す VI とグローバルな知財戦略
新たな大学として Vison を定め、それに基づいた研究開発の方向性を定め、医工共創を進めようとしている VI の取組について話題提供し、社会実装（企業との連携、スタートアップの創出）に向けたグローバルな知財戦略を議論する。

・スタートアップ創出を含む社会実装（AI 活用）を見据えた大学知財戦略の方向性ー海外大学との比較
最近では AI の活用（製品への組込だけでなく開発プロセスへの活用）は目覚ましく、社会実装をスピーディーに進めることができるようになってきている。加えて大学での知財戦略という視点からも重要性が増しており、海外大学との比較を含め議論する。

【登壇予定者】

・坂口卓弥 氏　東京科学大学　工学院　マネジメント教授（モデレーター）
・小林 美生子 氏　キヤノン株式会社 メディカル知的財産部 部長
・加藤 敏夫 氏　東北大学 産学連携機構知的財産管理部門長　特任教授
・丸山 裕也 氏　株式会社アークス CTO
・前田 直 氏　前田特許設計事務所　代表 弁理士
・大石 知広 氏　経済産業省　医療・福祉機器産業室　室長

以上